

令和7年度尾張旭市一般会計予算

討論要旨 安田吉宏議員

令和7年度当初予算は、柴田市長が就任以来注力されてきた、防災をはじめとする「安全・安心」のまちづくりに、子育て・教育を最重要施策に加えた内容となりました。全国各地で発生している災害や、人口減少・少子超高齢社会に立ち向かおうとする、柴田市長の強い決意を感じ取ることができる予算であります。昨年11月に当会派から提出をさせていただきました、「令和7年度予算編成に伴う要望書」の内容につきましても、随所に盛り込んでいただきましたことを深く感謝いたします。

それでは、具体的に4つの分野について評価をさせていただきます。

まず1つ目は、「安全・安心」の分野についてです。この安全・安心の分野、中でも防災に関して、特に市長の強い思いを感じることができる内容となっております。

新設される中央防災倉庫は、能登半島地震や能登半島豪雨での被災地支援で得られた教訓などを生かして、発災時の限られた人員でも効率的な物資搬送が行えるよう、工夫が施された内容となっております。柴田市長のリーダーシップの下、職員の実体験を踏まえて防災対策が進められていることは、高く評価できるものであります。

公民館や東部市民センターのトイレ洋式化や中学校体育館等の空調設備なども、避難所の環境改善という防災面としてだけではなく、普段から施設を利用される方の利便性向上や、学校生活における熱中症対策として、市民からの要望が高いものであり、その効果を大いに期待しています。

また、当会派が令和7年度の重点予算要望事項の1項目めに挙げている「水道管の耐震化」のほか、浄化センターの耐震診断の実施など、強靱な地域づくりを計画的に進めている点も評価できるものであります。

次に、2つ目、「健康・福祉」の分野についてです。

当会派の重点予算要望事項の一つであり、要望いたしました、「歯科節目診療の拡充」について、当会派の代表質問において、25歳と35歳を対象者に加えることを御答弁いただきました。市民や当会派からの要望を受け止め、実現していただきましたことに感謝いたします。

このほか、「健康・福祉」の分野では、带状疱疹ワクチン接種費用助成の内容拡充や、風疹予防接種の接種対象者拡大や、国民健康保険税の引上げ緩和のための財政支援など、市民の安心につながる重要な項目を多く実現していただいていることも、高く評価できるものであります。

3つ目は、「子育て・教育」の分野についてです。

この分野は、柴田市長の強い意思が感じられる内容となっております。当会派の重点予算要望事項に記載している私立保育所新設への支援のほか、民

間学童クラブへの支援など、待機児童対策はスピード感のある大変充実した内容となっております。

ほかに、保育園の空調設備の改修や遊戯室の改修、中学校体育館等の空調設備、三郷小学校のエレベーター改修、児童生徒のタブレット端末の更新など、ハード面での充実が図られているほか、水泳授業の民間プール活用の全小学校への拡充や、いじめ不登校対策、小中学校給食材料費の高騰分公費負担など、ソフト面での充実も図られているなど、子育て世代の方に「住みやすいまち」と感じていただける、まちの魅力を高める内容となっていると感じられるものであり、高く評価できるものであります。

4つ目は、「環境・都市基盤」の分野についてです。

都市基盤整備に関しては、三郷駅周辺まちづくり事業や、印場駅北側のバリアフリー化、北原山土地区画整理事業など、少子高齢化や人口減少が進む中で、今後のまちの将来を左右する、本市のさらなる発展につながる投資が引き続き盛り込まれております。

昨今の工事費高騰等の影響を受けて、多方面で事業費の増加が見込まれるため、何かと難しい判断が迫られる場面もあるかもしれませんが、魅力と活気あふれるまちづくりの実現を目指して、健全な財政運営を前提としながら、着実に事業が進められることを期待しております。

新年度予算は、今年度に引き続き、過去最大規模の予算となりました。市税収入は堅調に増加しているところではありますが、物価高騰や市民ニーズの多様化・複雑化などにより、難しい財政運営が続くことと思います。柴田市長には、引き続き難しいかじ取りが求められますが、それゆえに、市民からの高い期待も寄せられています。積極的な行財政改革にも取り組んでいただきながら、持続可能な行財政運営に努めていただければと、そのように思います。

新年度予算は、これまで申し上げましたように、市長のまちづくりに対する強い思いが籠もったものであり、まさに「幸せつむぐ 笑顔あふれる 尾張旭」を実現する予算であることを表現されたものであり、賛同の意を表したいと思います。